

山梨県

全員参加とエビデンス重視の調整会議

地域医療構想調整会議において、

- 対象となる全ての病院が参画
- 本県独自入手のレセプトデータを用いた「病床機能と主たる傷病との関係」等の分析結果を提示

1 都道府県及び構想区域の基礎情報



構想区域	人口	市町村数	報告対象 病院数	公立 病院	公的 医療 機関 等	その他	報告 対象 有床 診療 所	医師数	人口10万 対
中北圏域	467千人	7	27	5	4	18	27	1,350	291.2
峡東圏域	136千人	3	13	2	0	11	4	258	190.7
峡南圏域	53千人	5	6	3	0	3	0	59	114.2
富士・東部 圏域	181千人	12	6	4	1	1	6	257	143.4

構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数								2025年病床数の必要量				
	高度急性 期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	非稼働 病棟	未報告	合計	高度急性 期	急性期	回復期	慢性期	合計
中北圏域	1,173	1,907	411	1,520	108	2	0	5,119	403	1,353	1,227	1,161	4,144
峡東圏域	0	777	678	557	55	2	0	2,067	48	279	978	419	1,724
峡南圏域	0	354	0	150	40	1	0	544	0	78	102	83	263
富士・東部 圏域	15	758	99	147	63	2	74	1,156	84	318	259	117	778

※H28年7月時点（許可病床ベース）

2 山梨県の特徴

○75歳以上人口は2030年にピークを迎え、65歳以上人口は2035年以降も微増を続ける

○訪問診療受療患者数（絶対数、人口10万対とも）がかなり少ない

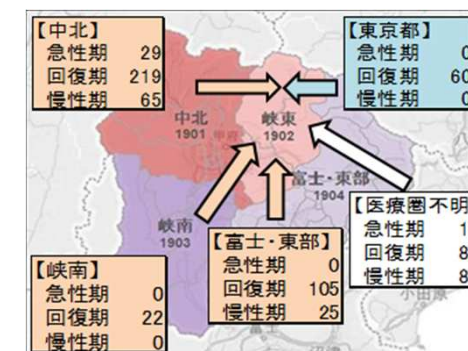
（単位：人／日）

	全県 ＜全国順位＞	医療圏				（参考） 全国
		中北	峡東	峡南	富士・東部	
訪問診療患者数	2,579 <47>	1,376	663	143	397	727,945
（人口10万対）	307 <46>	295	484	266	217	573

○2025年の峡東構想区域において、県内全域及び東京都から回復期の医療需要の流入が見込まれている

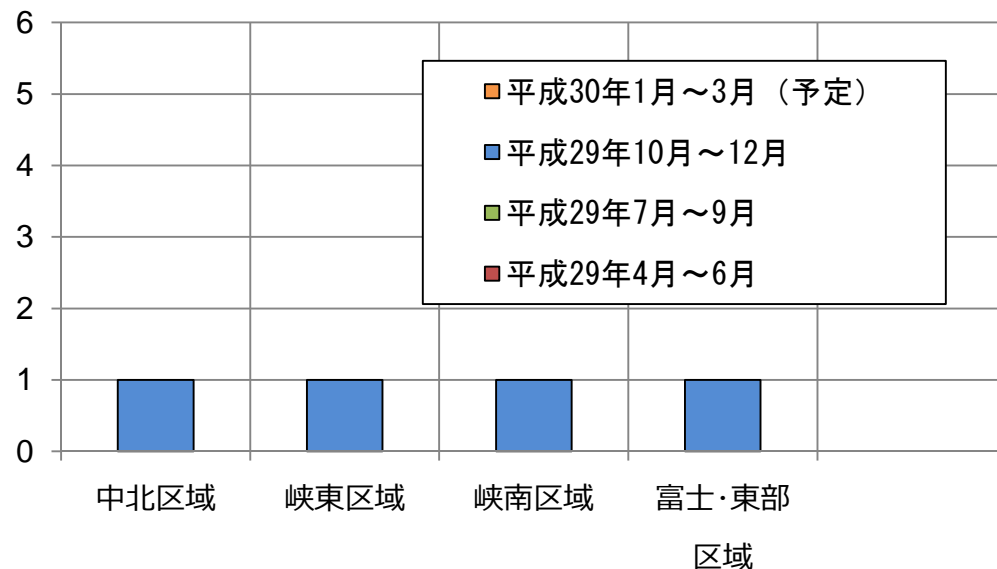
（単位：人／日）

※ただし、流入元構想区域の病床の状況の変化に注視が必要



3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

■ 構想区域ごとの調整会議の開催状況（開催延べ回数）（平成29年12月末時点）



○意見交換会等の取組例

〔H27、28年度〕

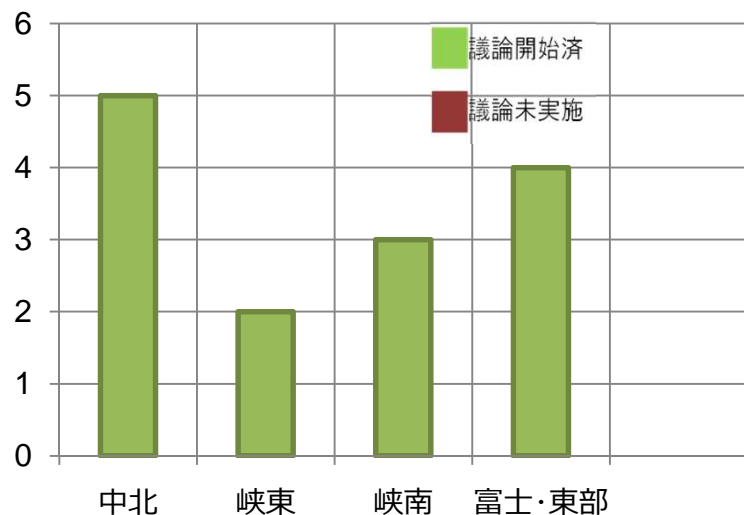
・医療関係者において、地域医療構想についての理解が必ずしも十分ではなかったため、周知を行うとともに、病床機能報告、レセプトデータの分析結果、国における療養病床の在り方の方向性などについての情報提供を行ったという段階であった。

〔H29年度〕

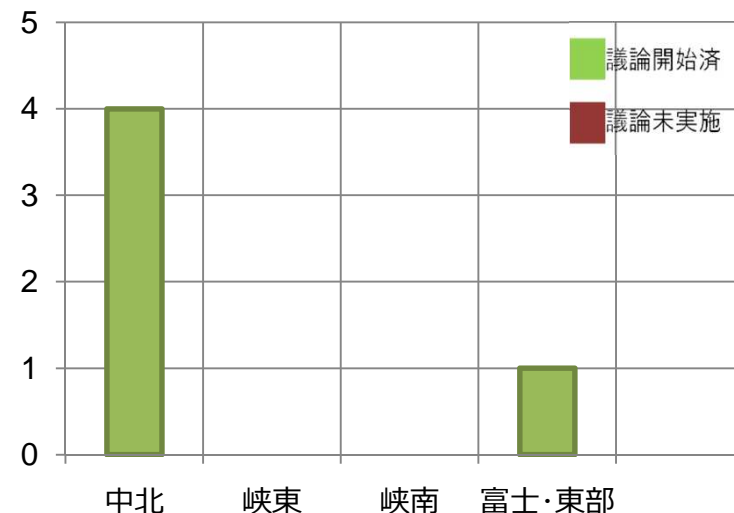
・厚労省の方針を受け、公立病院を含む公的医療機関等から、公立病院改革プラン・公的医療機関等2025プランに基づく地域医療構想の達成に向けた自院の将来の方向性を示していただいた。
・これに加え、県から、病床機能報告、基金事業についての情報提供を行った。

4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

- 構想区域ごとの新公立病院改革プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



- 構想区域ごとの公的医療機関等2025プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



○プランの活用について

[協議の進め方]

- ・ 県が、公立病院を含む公的医療機関等に対して、設立の趣旨を踏まえ、他の医療機能に率先して地域医療構想の達成に向けた将来の方向性を示していただくことを依頼。
- ・ 該当する全病院の病院長等が、今後の自院の役割、病床機能のあり方等について説明。

[スケジュール]

- ・ 次年度以降の調整会議におけるプランの扱いについては、今後、検討していく。

5 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫

○対象となる全ての病院が、地域医療構想調整会議に参画

- ・地域医療構想策定の段階の調整会議から参画。

○本県独自入手のレセプトデータを用いて、「病床の医療機能と主たる傷病との関係」等を分析

[目的] 自院の病床の位置付けについての判断に資するよう、医療機能及び在宅移行相当分の区分ごとの、患者の傷病との関係性の傾向について明らかにする

[分析の概要] 地域医療構想の定義に基づき分別した医療機能及び在宅移行相当分の区分と、主たる傷病の区分とのクロス分析

[作成手順] 審査支払機関より受領したレセプトデータについて、調査会社に委託して作成

[使用データ] H27年5月～H28年4月審査分の市町村国保及び後期高齢者医療に係る県内の全レセプトデータ（H28年度調整会議）

[分析結果例] 次ページのとおり

[分析結果例]

病床の医療機能と主たる傷病との関係

傷病基本分類		高度急性期		急性期	回復期		慢性期				合計	入院延べ日数
		救命救急・ICUなど	その他		回復期リハ病棟	その他	障害者施設・特殊疾患	医療区分2・3	医療区分1	在宅移行(175点未満)		
1	感染症及び寄生虫症	3.1%	2.4%	2.1%	0.1%	1.7%	1.4%	0.7%	0.5%	1.4%	1.4%	24,138
2	新生物	7.5%	20.1%	13.4%	0.6%	16.0%	4.0%	2.5%	4.7%	21.1%	10.2%	177,429
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2.7%	1.3%	0.7%	0.0%	0.7%	0.1%	0.1%	0.0%	0.9%	0.5%	9,130
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	0.8%	3.5%	4.7%	0.8%	4.2%	4.0%	4.9%	1.9%	4.4%	3.9%	68,113
5	精神及び行動の障害	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%	0.6%	12.8%	3.9%	3.4%	0.4%	1.8%	31,771
6	神経系の疾患	2.9%	2.1%	2.7%	2.9%	2.6%	35.4%	15.4%	8.1%	2.0%	7.0%	121,723
7	眼及び付属器の疾患	0.2%	8.4%	1.5%	0.1%	2.1%	0.3%	0.4%	0.2%	1.0%	1.5%	26,804
8	中耳及び乳様突起の疾患	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	598
9	循環器系の疾患	29.7%	20.5%	22.7%	36.4%	19.4%	14.6%	38.1%	42.3%	17.9%	27.0%	468,773
10	呼吸器系の疾患	9.3%	7.7%	12.8%	1.3%	9.7%	6.2%	6.8%	3.2%	8.0%	8.4%	145,384
11	消化器系の疾患	3.8%	9.4%	8.1%	0.4%	7.2%	2.0%	2.8%	2.3%	8.2%	5.5%	95,822
12	皮膚及び皮下組織の疾患	0.4%	0.7%	1.0%	0.0%	1.2%	0.3%	0.7%	0.1%	1.2%	0.8%	13,160
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	0.9%	4.9%	8.5%	7.7%	9.9%	3.2%	7.5%	10.2%	8.6%	8.0%	138,742
14	腎尿路生殖器系の疾患	1.9%	7.3%	4.3%	0.1%	4.3%	2.5%	2.0%	1.9%	6.2%	3.5%	60,057
15	妊娠、分娩及び産じょく	0.0%	0.4%	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.2%	3,714
16	周産期に発生した病態	20.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	3,244
17	先天奇形、変形及び染色体異常	1.7%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	2.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	4,516
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.1%	1.2%	1.8%	0.4%	1.5%	0.4%	1.9%	1.6%	0.9%	1.4%	24,945
19	損傷及び外因の影響	14.3%	8.0%	12.4%	37.1%	15.8%	10.1%	6.0%	13.0%	15.2%	14.3%	248,704
99	分類不能	0.5%	1.4%	2.0%	12.2%	2.3%	0.5%	6.3%	6.6%	1.5%	4.1%	71,452
合計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	1,738,219
入院延べ日数		8,112	121,744	517,356	197,607	284,366	89,091	327,618	99,841	92,484	1,738,219	

6 医療機関の再編・統合の参考事例

○峡南医療センター企業団の統合

[統合までの経緯]

- ・市川三郷町立病院、社会保険鰍沢病院（富士川町）は、医師不足により診療科の縮小が相次ぐ状態。また、社会保険病院についての今後の動向が不透明であった。
- ・H22年、両町が地域医療体制調査検討委員会を設置。
- ・H25年、両町、両病院、県からなる協議会において、基本計画を策定。
- ・H26年、両町からなる病院統合事務組合において、今後3年間の中期経営計画を策定。
- ・H26年4月、新設された峡南医療センター企業団が、市川三郷病院、富士川病院を開設。

[県の支援]

- ・協議会の事務局として、両町の意見集約を支援。
- ・病院統合事務組合設立後は、オブザーバとして参画。
- ・地域医療再生基金による統合支援。

7 都道府県としての来年度への抱負

地域医療構想調整会議の運営について

- 医療機関の判断に資するような、真に有効なレセプト分析を実施していく。
（案１）病床機能報告で急性期とされた病棟における、回復期の患者の割合
（疾患、処置の内容と関連付けたい）
（案２）療養病床入院中から退院後の訪問診療受療にかけての患者の状況の追跡調査

医療機関の機能分化・連携の支援について

- 急性期、慢性期から回復期への病床転換を行う医療機関に対し、引き続き、必要な施設・設備の整備への助成を実施していく。
- 医療機関が基金活用についてのイメージを描けるよう、具体的な活用事例等についても丁寧に紹介していく。

介護施設・在宅医療等の整備について

- 医療提供側については、サービス基盤強化、多職種連携の強化、医療受療側については、住民への普及啓発を実施していく。
- サービス基盤強化としては、退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り、在宅歯科診療・在宅薬剤管理指導・訪問看護の推進、連携協議の推進を行う。

